

2020年4月3日

学生の皆様へ

名古屋大学では、4月1日に示された政府の「新型コロナウイルス感染症専門家会議」の状況分析・提言や社会情勢等を踏まえ、2020年度春学期の授業について、急遽、これまでの予定を変更し、以下の通り実施することとしました。

○ 2020年度春学期については、原則として、教育学習支援システム（NUCT）などのICTを活用したデジタル授業を中心とし、対面による授業は、当面の間、実施しません。

※このため、ホームページ等でお知らせしていた、学生の皆さんを半分にわけ、対面による授業とICT等を活用したデジタル授業を交互に受講する隔週講義は、原則として実施しません。

○ ただし、実験や実習などについては、1回の参加人数を50人未満とするとともに、以下の「感染防止の考え方」を徹底するなどの対策を講じた上で、対面による授業により実施します。

【感染防止の考え方】 ※は学生・教職員に推奨する事項

◇ 発熱等の風邪症状がある場合は、大学に登校せず自宅等で静養する。

次の症状がある場合は「名古屋大学保健管理室」に相談する。

風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合

強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

◇ 隣の人との距離の確保（食堂等での飲食時も含む）

1つおきに着席、

マスク着用 ※

◇ 密室等で長時間を過ごす環境の排除

30～40分を目安に休憩をとり、換気を実施

休憩時間には手洗い ※

○ 現在、各学部・研究科において対応を検討しています。詳細が決まり次第、各学部・研究科、教養教育院、博士課程教育推進機構のホームページを通じてお知らせいたします。

○ 以上の方針については、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の状況などを踏まえ、変更する場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

変更する場合は、大学又は各学部・研究科、教養教育院、博士課程教育推進機構のホームページ等でお知らせいたします。